

埼玉東部消防組合財政事情の公表

埼玉東部消防組合では、財政事情の作成及び公表に関する条例に基づき、年2回財政状況について公表しています。

今回は、平成28年度下半期（平成28年10月1日から平成29年3月31日まで）の状況についてお知らせします。

1 管理者の財政方針

実績に基づいた無駄のない安定した財政運営に努めると共に、広域化のスケールメリットを存分に発揮して、高い財政意識を持ち更なる効率化に努めていくことを財政方針としています。

2 予算に対する収入及び支出の概況（平成29年3月31日現在）

平成28年度埼玉東部消防組合一般会計予算に対する平成29年3月末の収入及び支出の状況ですが、出納整理期間の収支を含んでいないため、すべての収支を含んだ決算とは一致しません。

なお、各数値は原則として単位以下で四捨五入しています。

（1）歳入

（単位：千円）

款別	予算現額			収入済額 (B)	予算比 (B/A)
	当初	補正及び繰越等	計(A)		
分担金及び負担金	6,389,358	0	6,389,358	6,389,358	100.0%
使用料及び手数料	5,893	0	5,893	5,634	95.6%
国庫支出金	36,932	14,549	51,481	0	0.0%
財産収入	11,207	4	11,211	11,212	100.0%
繰越金	208,867	189,118	397,985	397,989	100.0%
諸収入	15,636	0	15,636	21,332	136.4%
組合債	56,900	57,200	114,100	114,100	100.0%
合計	6,724,793	260,871	6,985,664	6,939,625	99.3%

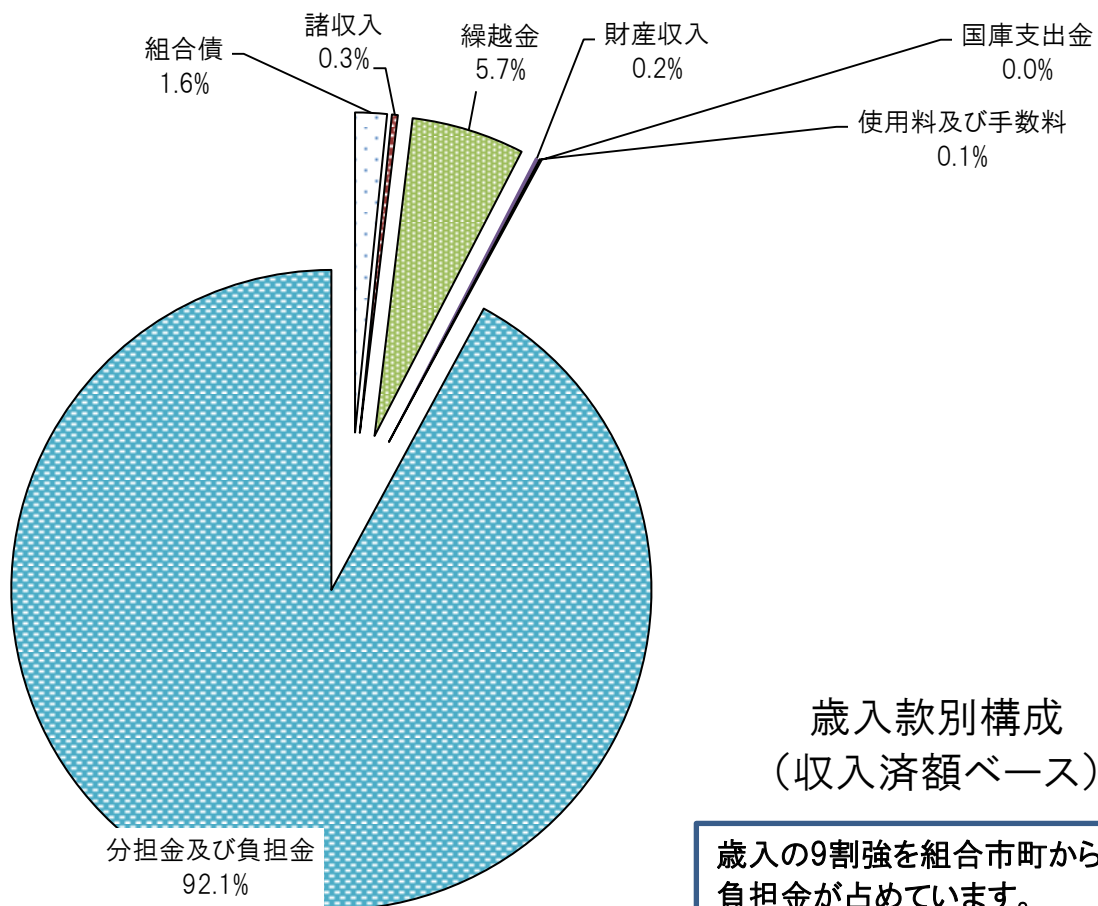
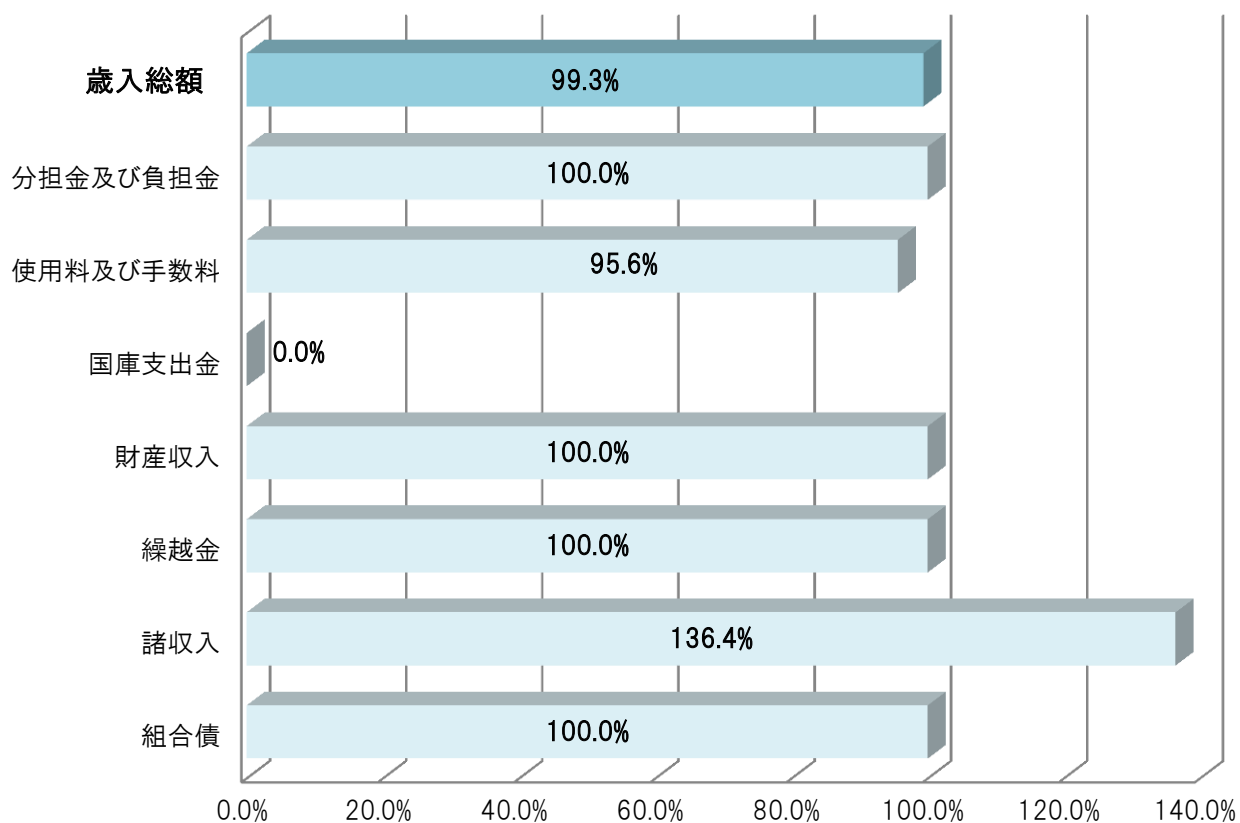
（2）歳出

（単位：千円）

款別	予算現額			支出済額 (B)	予算比 (B/A)
	当初	補正及び繰越等	計(A)		
議会費	2,468	0	2,468	1,923	77.9%
総務費	1,576	94	1,670	1,452	86.9%
消防費	6,454,672	120,824	6,575,496	6,253,903	95.1%
公債費	256,077	0	256,077	254,980	99.5%
諸支出金	0	140,106	140,106	115,159	82.1%
予備費	10,000	▲153	9,847	0	0.0%
合計	6,724,793	260,871	6,985,664	6,627,417	94.9%

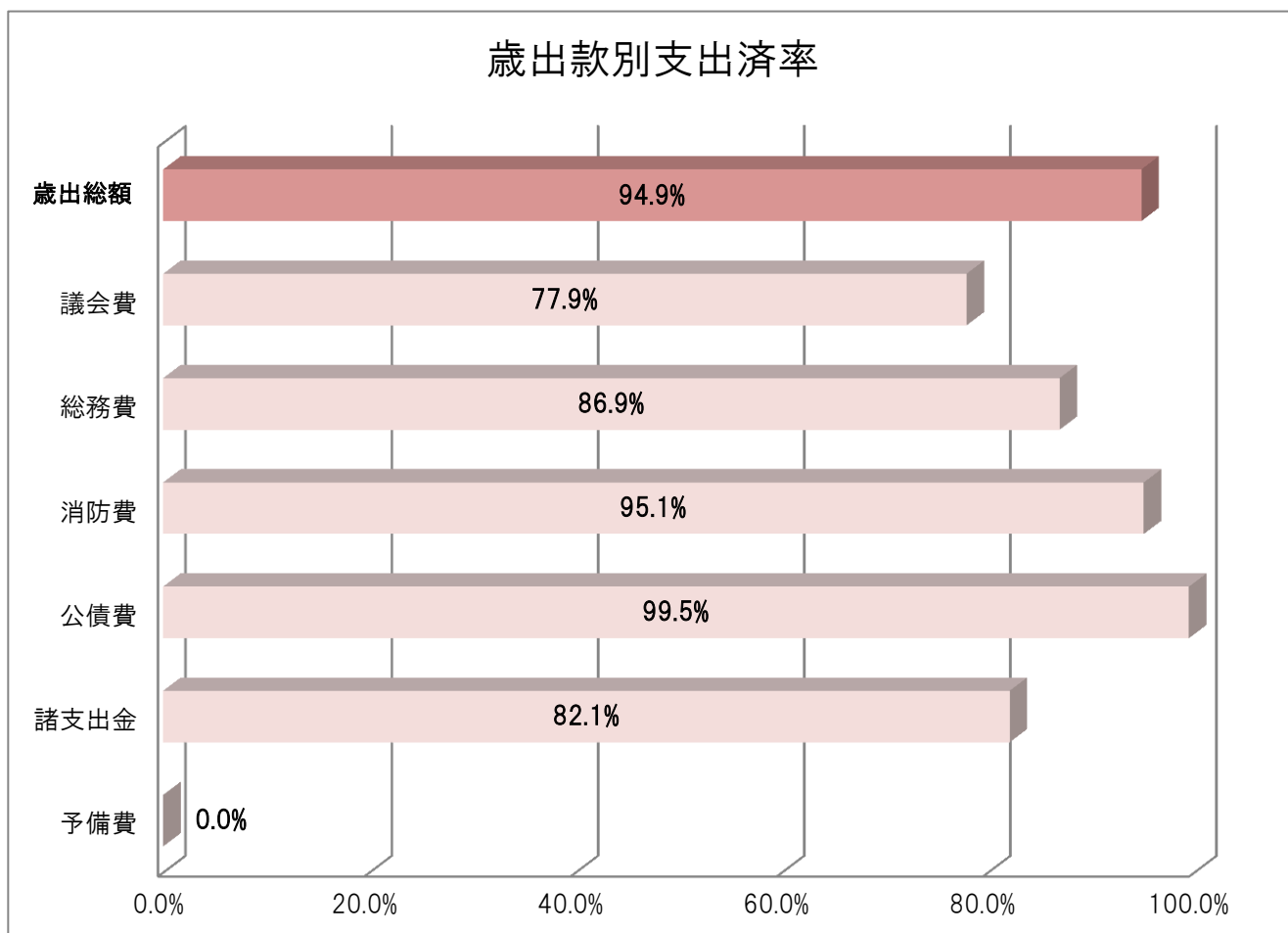
緊急消防援助隊設備整備費補助金が収入未済となっているため、国庫支出金の収入率が0%になっています。なお、この補助金につきましては、平成29年4月以降に交付を受けています。

歳入款別収入済率



歳入款別構成 (収入済額ベース)

歳入の9割強を組合市町からの負担金が占めています。



3 住民の負担の状況

平成29年3月末現在及び前年同期における歳出予算現額及び支出済額に対する管内住民一人あたり、一世帯あたりの負担の状況です。

	前年同期(A) H28. 3. 31現在	平成28年度末(B) H29. 3. 31現在	比較 (B-A)	比率 (B/A)
管内人口	452,080 人	451,913 人	▲ 167 人	100.0%
管内世帯数	183,119 世帯	186,903 世帯	3,784 世帯	102.1%
歳出予算現額	6,762,015 千円	6,985,664 千円	223,649 千円	103.3%
住民一人当たり負担額	14.96 千円	15.46 千円	0.51 千円	103.3%
一世帯当たり負担額	36.93 千円	37.38 千円	0.45 千円	101.2%
支出済額	6,193,680 千円	6,627,417 千円	433,737 千円	107.0%
住民一人当たり負担額	13.70 千円	14.67 千円	0.96 千円	107.0%
一世帯当たり負担額	33.82 千円	35.46 千円	1.63 千円	104.8%

支出済額が昨年度に比べ約7.0%増額となっていることから、前年と比べ、住民一人当たり負担額・一世帯当たり負担額ともに増加しています。

なお、支出済額が増加した要因は、平成27年度からの繰越明許による北川辺分署の改築のほか、大和分署の耐震補強及び支援車Ⅰ型の新規整備等によるものです。

4 財産、公債及び一時借入金の現在高

消防組合が保有する財産、銀行等から借入れている地方債等の状況です。

(1) 不動産（建物及び工作物等）の状況

消防組合が所有している建物及び工作物の状況です。土地については、組合市町と使用貸借、土地所有者との賃貸借となっています。

(単位：㎡)

署 所 別	平成27年度末		今年度中増減		平成28年度末	
	建 物	工 作 物	建 物	工 作 物	建 物	工 作 物
消防局・久喜消防署	3,604.57	28.00			3,604.57	28.00
東 分 署	349.10	0.00			349.10	0.00
鷲 宮 分 署	910.10	9.20			910.10	9.20
菖 蒲 分 署	367.13	0.00			367.13	0.00
栗 橋 分 署	373.94	0.00			373.94	0.00
加 須 消 防 署	4,215.80	54.05			4,215.80	54.05
加 須 南 分 署	765.13	28.80			765.13	28.80
騎 西 分 署	482.86	28.80			482.86	28.80
北 川 辺 分 署	290.15	0.00	248.90	5.62	539.05	5.62
大 利 根 分 署	482.26	14.40		▲ 7.20	482.26	7.20
幸 手 消 防 署	1,170.31	0.00			1,170.31	0.00
西 分 署	1,148.90	0.00			1,148.90	0.00
白 岡 消 防 署	934.34	12.96			934.34	12.96
篠 津 分 署	678.44	24.00			678.44	24.00
宮 代 消 防 署	1,869.70	9.72			1,869.70	9.72
中 島 出 張 所	129.60	0.00			129.60	0.00
杉 戸 消 防 署	1,663.32	6.70			1,663.32	6.70
泉 出 張 所	571.70	0.00			571.70	0.00
合 計	20,007.35	216.63	248.90	▲ 1.58	20,256.25	215.05

※ 建物とは、主に屋根及び壁等を有する建築物

※ 工作物とは駐輪場や簡易的な訓練塔などの建物以外の施設や建築面積が10㎡以下の建物

北川辺分署の改築において、庁舎の増築及び駐輪場を新設したことにより建物、工作物共に増加しています。また、大利根分署の耐震補強において、駐輪場の一部を解体・撤去したことにより工作物が減少しました。

(2) 物品（車両、通信機器等）の状況

消防組合で所有している財産のうち、車両や通信機器等の物品の状況です。緊急性や必要性に応じて、計画的な整備、更新を図っています。

(平成29年3月31日現在)

車 両 等 名 称	単 位	平成27年度末 保 有 数	今年度中		平成28年度末 保 有 数	
			増	減		
緊 急 車 両	水槽付消防ポンプ自動車	台	15		15	
	消防ポンプ自動車	台	15	1	16	
	化学消防ポンプ自動車	台	5	1	2	4
	はしご付消防自動車	台	3		3	
	救助工作車	台	6		1	5
	高規格救急自動車	台	18	2	2	18
	指揮車	台	6		1	5
	指令車	台	16	3	1	18
	支援車	台	1	1		2
	資機材搬送車	台	3			3
	津波・大規模風水害対策車	台	1			1
	小型水陸両用バギー	台	1			1
	非常用消防ポンプ自動車	台	2			2
	非常用救急自動車	台	4	2	2	4
緊 急 車 両 以 外	作業運搬車	台	7		2	5
	事務連絡車	台	16	1	2	15
	ボートトレーラー	台	2			2
	救助艇（登録船舶）	艇	16		8	8
車 両 等 計		137	11	21	127	

設 備 名 称	単 位	平成27年度末 保 有 数	今年度中		平成28年度末 保 有 数
			増	減	
指令装置（Ⅲ型）	式	1			1
無線基地局	基	1			1
移動局（車載型）	基	97			97
移動局（可搬型）	基	7			7
移動局（携帯型）	基	116			116
通 信 機 器 等 計		222	0	0	222

長時間にわたる災害活動における後方支援等を目的として、支援車Ⅰ型1台を新規整備したほか、老朽化した化学車1台、救急車2台、指令車2台及び事務連絡車1台を更新しました。

また、救助艇について、広域化に伴い配置数及び出場体制の見直しを実施したことにより、総数を8艇減らしています。

(3) 基金の状況

消防車両の更新や消防庁舎の改修などに必要となる財源の不足に備え、消防組合の財政の健全な運営を図るため、財政調整基金を新たに設置しました。

(単位：千円)

区 分	平成27年度末	今年度中		平成28年度末
	現在高	増	減	現在高
財政調整基金	0	115,159		115,159

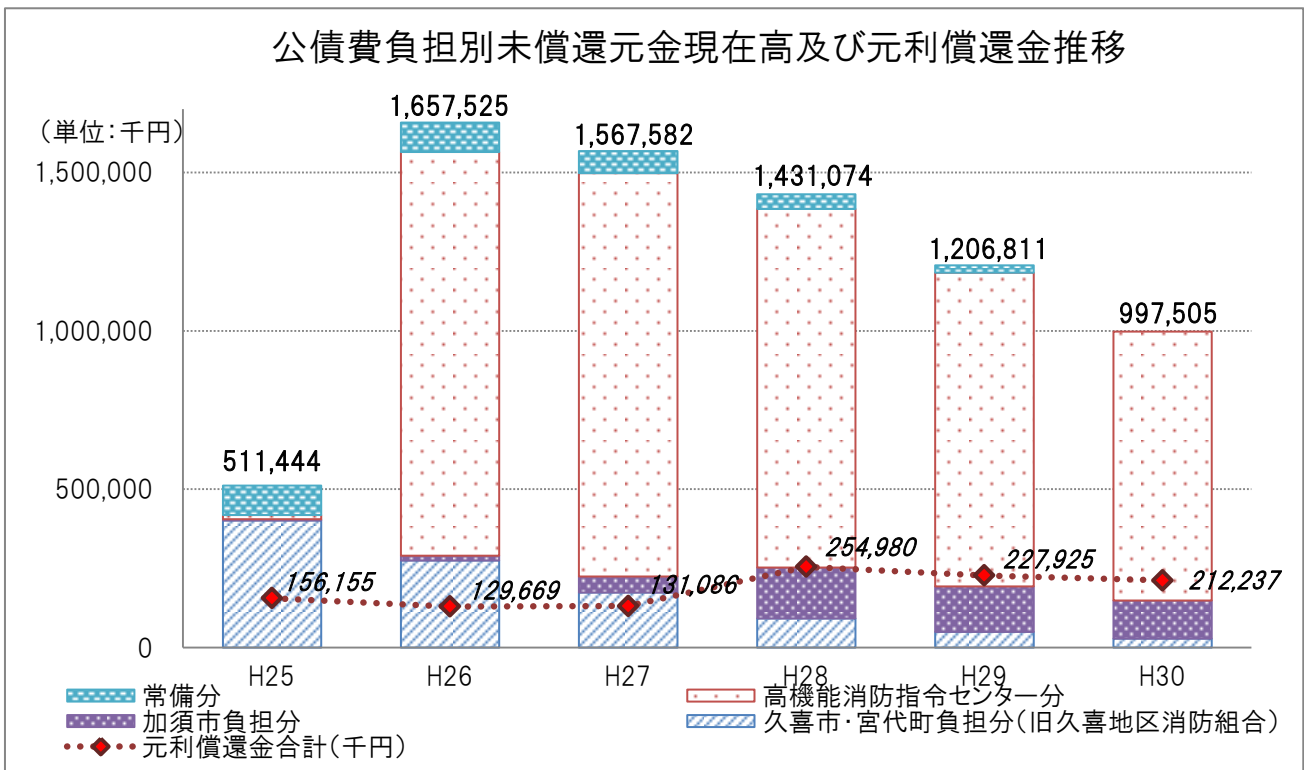
(4) 組合債の状況

消防組合（旧久喜地区消防組合を含む）が借り入れた地方債の現在高と元利償還金の状況です。北川辺分署及び大利根分署における庁舎耐震工事、加須市の防火水槽新設のため、地方債の借り入れを行いました。

(単位：千円)

	平成27年度末	平成28年度中	今年度元利償還額		平成28年度末	
	現在高(A)	借入額(B)	元金(C)	利子(D)	現在高(A)+(B)-(C)	
組合債合計	1,567,582	114,100	250,608	4,372	1,431,074	
借入先別	簡保資金	61,780	12,038	764	49,742	
	銀行等資金	1,397,614	114,100	170,882	3,006	1,340,832
	共済等資金	51,848		25,348	489	26,500
	その他資金	56,340		42,340	113	14,000

公債費負担別未償還元金現在高及び元利償還金推移



(5) 一時借入金等の状況

一時借入金はありません。

※ 一時借入金とは、地方公共団体の一時的な現金不足を補うために、地方自治法に基づいて金融機関から借入れる短期の借入金